

製品名: RB マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80520**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	RB
別名	RB; pRb; OSRC; pp110; p105-Rb; RB1
遺伝子 ID	5925.0
SwissProt ID	P06400
免疫原	大腸菌で発現したヒト RB の精製された組み換え断片。

背景

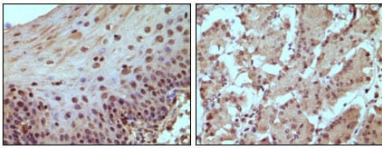
Rb タンパク質は、G1-S 期における細胞周期を転写機構と連携させることで、分化、アポトーシス、および細胞周期制御を制御します。G1 期には、サイクリン D 依存性キナーゼを介した Rb の Ser-795 リン酸化により、Rb は転写抑制性の低リン酸化状態から不活

性なリン酸化状態へと変化します。この状態は、最大 16 個の推定セリンまたはスレオニン残基の異なるリン酸化によって有糸分裂を通じて維持される可能性があります。小児がんである網膜芽細胞腫やその他のヒト腫瘍の形成は、網膜芽細胞腫腫瘍抑制遺伝子 (Rb) の変異に起因すると考えられます。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト正常食道 (A) および胃 (B) 組織の免疫組織化学染色。Rb マウス mAb と DAB 染色を使用して核の局在を示しています。